

Kasugaoka J.H.S

明日への扉

アスヘノトビラ

令和3年1月号

京都市立春日丘中学校

道徳通信

学校教育目標

『すべての子どもの
学習機会の保証』



2021年がスタートして、1ヶ月が経ちました。つい最近に、平成から令和へと、元号が変わったと思っていたのに、令和もう3年。時の流れの早さにただただ驚くばかりです。そんな2021年のスタートは、昨年度に続き、新型コロナウイルスと共に始まったと言っても過言ではありません。関西にも緊急事態宣言が発令され、決して油断できない日々が続いています。新型コロナウイルスと戦いながらの生活が始まって1年。半年前は「新しい生活様式」と言われていたことも、今や私たちの生活の中では当たり前となっていることがたくさんあります。マスク着用や換気の徹底、こまめな手洗いなど、コロナ感染予防のためとはいえ、私たちが健康に生活するためには決してマイナスなことばかりではありません。その結果として、今年は全国的にみてもインフルエンザの感染者が圧倒的に少ないのです。コロナウィルスとの生活は、楽なものではありませんが、学ぶべきこともきっとあるのでしょう。

さて、3年生はこれから、進路決定に向けて大事な日々ですね。いよいよ本番がやってきます。しっかりと体調管理し、入試までの日々を万全の体制で過ごしてほしいと思います！教職員・在校生一同で3年生を応援しています。

授業の様子を紹介します



“裏庭でのできごと”

校則で禁止されている場所でサッカーをした雄一、大輔、健二の3人組。そこで雄一がガラスを割ってしまいました。「ネコからひな鳥を守るためにボールを投げて、ガラスを割ってしまいました！」と正直に報告した雄一。その後もサッカーを止めず、結局2枚目のガラスを割ってしまった健二。しかし、その報告も「ひな鳥を救おうとしたんです」と雄一の行為にかぶせて正当化する大輔。健二は、2枚目のガラスは自分が割ったと言い出せずに悩みます。雄一に「なんだよ。汚ねえなあ」と言われ、自分の不誠実さに気付きます。そして、職員室に向かう健二…。

この教材を通して、自分の姿と重ねながら考えることができた1年生のみなさん。自分の行いに対して、責任を持つことが、周りの人たちから信頼を得ることにつながるということに、気付いた人も多かったのではないのでしょうか。素直な心で行動できる仲間集団になっていきましょう。



《ワークシートより（授業の感想）》

- ・自分も健二に似ているところがあるなと思った。人に流されるのではなく、自分で判断する力をつけていきたい。
- ・もし、同じ場面になったら、僕も大輔のように行動してしまうかもしれないと思った。こんなことをしてしまうのではなく、正直に言ったほうが後で楽になると思うから、勇気をもって行動したいと思う。
- ・友達とは、いいことだけでなく、ダメなところは注意しあえる関係でいたいなと思った。
- ・今回の道徳の授業で、先のことを考えて行動することが大切だと分かった。そして、自分の行動に責任を取ることも大切だと思った。校則でダメだと決まっていることには、何か意味や理由があると思うので、そこも考えていきたい。



震災から考える“いのち”の大切さ

1995年1月17日5時46分、阪神淡路大震災が起きました。地震の規模を表すマグニチュードは7.3、死者は6434人と多くの被害者が出ました。当時は戦後最大と言われたこの地震。当然、中学生であるみなさんはまだ生まれてもいません。この震災から今年で26年、神戸市民の約4割の人がこの震災を経験していないと言われていいます。神戸の街自体が完全に復興した今だからこそ、今を生きる我々がこの震災のことを忘れず、次の世代へと繋いでいくことが大切なのだと思います。そして、今日の授業を通じて感じた「いのち」の大切さ。今を生きる私たちにできること、そして改めて感じた当たり前の日常に感謝をして、これからもこの震災を忘れず、生きてほしいと思います。



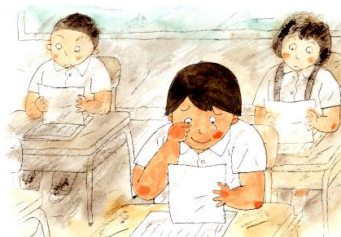
《ワークシートより（授業の感想）》

- ・映っていた時計が止まっているのを見て悲しくなった。家が焼けていく音や叫び声がとても痛ましかった。亡くなった人のためにも前を向こうとする人たちに感動した。
- ・「大丈夫」は人が3つ集まってできている」という言葉にぐっときた。せめて地震が起きた時のために準備をすることは本当に大事だと思った。なんともいえない気持ちになった。
- ・この2つの震災のことについて僕はとても悲しい。だけど、こういう時にみんなで助け合っていたことに感動した。
- ・いつ地震がくるかわからないし、いつ命を落とすかわからないので今あるいのちを大切に生きていきたい。
- ・救えないいのちもたくさんあったけど、助け合いができていたり争いごとがなかったりして、日本人って優しいなと思いました。自分の命だけではなく他人の命も考えたり、人の苦しみも理解して行動できる人がたくさんいて感動した。



“ぼくにもこんな「よいところ」がある”

自分の良いところは？こう聞かれてすぐに答えられる人は多くないかもしれません。主人公の「ぼく」の良いところは真面目なところ。しかし周りの人にはそう思われたいと感じています。クラスメイトの悪いところばかり目についてしまいます。そんなある日、クラスメイト一人ひとりに向けて、良いところを書くことに。自分に向けて書いてくれた内容を見ると、良いところがたくさん書いてありました。周りの人は「ぼく」のことをきちんと見てくれていたのだと感じました。実際に、クラスでも同じことをしましたが、友達のことを考えているとき、また、良いところを書いてもらった紙を読んでいるときのみなさんの表情はすごく幸せそうでしたね。周りの人の良いところを見つけられる人に、そして自分に自信を持てる人になってください。



《ワークシートより（授業の感想）》 クラスの人からのコメントを読んで…

- ・人から良いところを書いてもらえるのはうれしいし、よかった。もっと自分の良いところを増やしたい。
- ・人のよいところを見つけるのは悪いところを見つけるより難しいけど、互いに気分がよくなるので、しっかり褒められる人になりたい。
- ・おもしろいコメントが多くて、こんなに見てもらえているのだと感じた。
- ・内面をもっと出していこうと思った。
- ・みんなはすぐにいいところを書くことができるので、すごいと思った。私は自分のことでいっぱいなので、周りや人のことを見るように心がけたいと思った。